

# アコーディオン夏合宿セミナー2008 in 檜原村

## 8/1 (金) ~3 (日)

### 東京の秘境、檜原村数馬にて



この夏、3日間の合宿セミナーが東京の最西北端、檜原村で開催されます。デイヴィッド・ファーマー（クラシカルアコーディオニスト）さんをゲストに迎え、アコーディオン・アンサンブルAir（代表：川口裕志）主催、東京アコーディオン文化倶楽部（代表：くしあひ真錫安）協力で開催する一般公開のセミナーです。初開催の昨年は若者も多数参加し、講習生の心に大きな感動を残して、充実した会が実現しました。



近年、若者から中高年まで幅広くアコーディオンへの関心が高まっている中、当セミナーは新人育成と中上級クラスのレベルアップのよい機会となるでしょう。そしてアコーディオン愛好者のまたとない交流の場です。

セミナーは個人レッスンをはじめ、昨年好評のD.ファーマー公開レッスン、合奏・アンサンブル、楽典・和声、そしてリトミック（新企画）。キャンプファイヤーやバーベキュー、ミニ演奏会など親睦と演奏交流の時間もたっぷり、まさに「真夏の夜の夢」。

新企画は都民の森・森林館で開催の「深い森のアコーディオンコンサート」。一般公開し、セミナー参加のプロのソロをはじめ、アンサンブル、重奏がたっぷり楽しめます。



松村有子先生（07セミナー楽譜の読み方講座から）

アコーディオン仲間がみんな友達になって、

山里の緑豊かな自然と部落の人々の素朴な人情に生まれ、思いっきりアコーディオンに浸ってみませんか。

どなたでも参加できます。「これからアコーディオンを始めてみたい！」という方も、ぜひどうぞ。



小林照未先生（新企画：リトミック講座を指導）

檜原村には、人間の生活の原点がある。

山で薪をとり、山菜を摘み、川魚を捕る。滝の水を飲み、火を熾して焼いたり煮たり。しかし、山肌を耕しての農耕栽培には困難が付き物。重たい肥料や農耕機具を荷車で運び上げ、傾斜した畑で農作業をする。油断すればイノシシや猿に見事に畑をやられる…野性動物との闘い。冬は厳しい自然と闘う。雪に埋もれ、凍った坂道を歩く。夏は台風。大雨で崖崩れや落石で危険にさらされ、輸送が途絶え、通信不通となるだろう。そんな厳しい生活を共有しながら村を支えてきた人々が今でも住んでいる。もちろん今は、電気も電話もあり文化的だが、自給自足の生活が基にある。澄んだ空気や強い日差しの中で育った野菜や山菜は格別だ。

谷間から吹き上げる湿った風が何とも爽やか。鮮やかな木々の緑の中で過ごしていると心身ともに癒される。「これ食べよ」「あれ食べよ」と次々出される素朴な料理は、懐かしさとともにふる里を呼び戻してくれる。ともあれ、宿のおじさんやお婆さんの情に絆されて、かれこれ30年お世話になってきたこの数馬の里でまた、合宿を再開することとなった。



2007年発行「かわら版 No. 1」より転載。

### 事務局メンバーからひとこと

昨年初めての合宿に参加し、檜原村の大自然とアコーディオンの素敵な音色のマッチングに感動を受けました。今年も去年のような、そして去年より一層素晴らしい合宿に出来るよう、頑張りたいと思っています。よろしくお祈りします！

夏合宿セミナー事務局長 亀田 (東京アコーディオン文化倶楽部)

昨年に引き続き、夏合宿セミナーのサイト作成・運営を担当しています羽山です。サイトを通じて参加者の皆さんに情報をこまめに発信していくことはもちろんですが、ゆくゆくは大きなアコーディオンの輪を作っていきたいという事務局メンバーの野望のもと、いかに多くの方にこのセミナーの存在や活動内容を知って頂けるかという意味でも、サイトの運営は重要な位置付けと考えています。またアコーディオン仲間同士の交流の場として少しでも役立てていければとも思っておりますので、参加者の皆様には一筆お願いすることもあるかもしれませんが、その際はご協力よろしくお祈りします。

企画宣伝部長 羽山 (羽根木アコーディオンクラス)

◆第一次募集締切りは5月31日です。お早めにお申し込み下さい。申込後、一週間以内に予約金10,000円を銀行振込(参加要項参照)または実行委員、担当講師にお支払い下さい。◆合奏・アンサンブル・重奏講座の曲目は6月初めまでに公表致します。選曲は担当講師または事務局とご相談願います。◆その他、ご不明な点はお気軽に夏合宿セミナー事務局に電話、メール、FAXなどでお問い合わせ下さい。

